

平成30年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用した一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算については、17名で構成する決算審査特別委員会を設置し、事業別行政コスト計算書などの財務諸表を盛り込んだ決算説明書を活用し、PDCAサイクルを意識した審査となりました。

今回は、新たな試みとして、よりわかりやすい審査となることを目指し、事業別の一問一答方式での質疑を行い、原案のとおり認定されました。

なお、4つの特別会計決算については、建設環境委員会、市民厚生委員会が審査され、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

補助金の活用

問 特徴的なものを伺う。

答 国や東京都の動向を注視しながら、新たな事業に充てられる補助金をチェックしており、平成30年度は、外来生物であるアライグマやハクビシンの防除や、子育て世代包括支援センターの事業、小中学校ブロック塀等改修工事等に、国や都の補助金を活用した。また、せせらぎ遊歩道公園の老朽化した橋の架けかえ工事や池の護岸工事に防衛補助を活用した。

多文化共生の講演会

問 内容と成果を伺う。

答 職員向けには、「やさしい日本語について」をテーマに、文書作成などの研修を行い、窓口で外国人に対応する職員の意識啓発につなげられた。市民向けには、「外国人を取り巻く動向と私たち

使用料・手数料等受益者負担適正化方針について

問 内容について伺う。

答 平成28年度に地方公

にできること」をテーマに、外国人支援の必要性等について説明があり、ささいなことでも支援できると意識の醸成につなげることができた。

AED設置の状況について

問 AED（自動体外式除細動器）を配置した店舗と台数を伺う。

答 夜間、休日でも利用が可能なコンビニエンスストアへのAEDの設置は以前より要望があり、株式会社セブンイレブン・ジャパンとの地域活性化包括連携協定に基づき、市内のセブンイレブン全17店舗のうち協定の同意が得られた14店舗に対し、AEDの設置の提供と有事の際のAED機器の受け渡し業務を行っていただいている。

窓口事務の情報セキュリティシステム復旧は

問 窓口事務における情報セキュリティの確保や、災害を想定したシステムの復旧の取り組みを伺う。

答 情報セキュリティの確保については、情報セキュリティポリシーを遵守し、毎年情報セキュリティ研修を実施している。システムの復旧については、職員間で情報セキュリティポリシーに基づく実施手順書の共有を図っている。

声「あなたとわたし」作成委託について

問 SPコードからデジジ方式のCD版に変えたことの詳細を伺う。

答 市内全戸配布している男女共同参画情報誌「あなたとわたし」の音訳について、SPコードでは情報量に限りがあるため、平成30年度から、紙面のほぼ全ての情報の提供が可能なデジジ方式としたもので、CD版の「あなたとわたし」を希望者に配布する。

骨髄移植ドナー支援事業について

問 事業の概要と、平成30年度の実績を伺う。

答 公益財団法人日本骨髓バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄または末梢血幹細胞を提供した者等に対し助成金を交付する事業で、申請により、提供のための通院、入院、面接等に要した日数（上限7日）に、提供者は2万円、提供者が勤務する事業所は1万円を乗じた額を支給する。平成30年度の申請は提供者1件で、上限7日分の助成金を支給した。

プレイパークの活動状況について

問 プレイパークの活動内容を伺う。

答 平成30年度は隔月で全6回、中福生公園及び

多摩川中央公園において実施し、来場者数は延べ362名であった。工具で木材を加工する木工エ

リア、かまどで調理を行うたき火エリア、ブルーシート上で乳幼児が過ごしたり手芸を行う乳幼児手芸エリアなどを設け、さまざまな体験ができるプログラムとした。

保育所等ICT化推進事業補助金について

問 ICTの内容と、参加している保育所の数は。

答 保育の業務を支援するシステムで、園児の登園・降園の管理をタブレット端末等で行う機能、園児の成長記録の作成機能等がある。市内で導入を希望した12園で実施しており、内訳は、認可保育園が1園となつている。

空き家住宅除却助成事業について

問 これまでの住宅建替促進事業を見直したもののことだが、件数増の理由と助成の要件を伺う。

答 従来、空き家の除却後に同地で住宅新築を行った場合等に助成していたが、除却に特化した形で事業を新設した。潜在的ニーズに合う形で制度設計できたことが件数増の要因と考える。昭和56年5月31日以前に着工された住宅であること、おむね1年以上空き家と

なっていること等が助成の要件となっている。

スクールソーシャルワーカーの活動について

問 不登校対策に重きが置かれているが、その他の活動の実例を伺う。

答 ふっさつ子の広場への定期的な巡回相談を行っている。発達の特性を抱える児童と他の児童とのトラブルに指導員が苦

栄養士嘱託員の業務について

問 食育的な視点からの取り組みと課題を伺う。

慮した事例では、スクールソーシャルワーカーがその児童の発達的な特徴を丁寧に指導員へ伝え、児童の特性の理解が進んで困難な場面も減り、ふっさつ子の広場の環境が改善したこともあった。

答 児童・生徒がさまざまな食材、料理を経験できるよう、旬の食材や地場産物、行事食や日本各地の郷土料理などの献立を取り入れ、魅力ある給食づくりを進めている。食品ロス低減に取り組むため、児童・生徒が食べ残した給食の残菜量を毎日計量し、学校と情報共有することにより、給食指導に役立てている。



▲平成30年度一般会計決算を起立多数で認定

平成30年度 一般会計決算の款別内訳

()内の数字は合計に占める割合

